

政策調整会議の概要

開催日 令和4年4月7日（木）

◎項目

- 1 令和4年度県民世論調査について【総務部】
- 2 「再び、濱田が参りました」について【総務部】
- 3 令和4年2月分の時間外勤務の状況について【総務部】
- 4 ワークステーションの活用について【総務部】
- 5 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための職場における働き方について【総務部】
- 6 令和4年度の予算執行方針について【総務部】
- 7 ウクライナ避難民の受入について【文化生活スポーツ部】

◎内容

- 1 令和4年度県民世論調査について【総務部】

総務部より、令和4年度県民世論調査について説明が行われた。
(総務部)

令和4年度県民世論調査について各部局に調査票の提出をお願いしている。6、7月に設問内容の検討を行うこととしているが、担当課から設問の意図・目的を知事に説明していただくので、調査結果を施策に生かすイメージを持って設問の設定をお願いする。
- 2 「再び、濱田が参りました」について【総務部】

総務部より、「再び、濱田が参りました」について説明が行われた。
(総務部)

「再び、濱田が参りました」では、対話に加えて、現場を直接訪問することとしている。課題等への対応方針についての資料作成や当日の座談会等で出た意見への対応方針・対応結果についての資料作成を依頼することがあるので、対応をお願いする。
- 3 令和4年2月分の時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より、令和4年2月分の時間外勤務の状況について説明が行われた。
(総務部)

令和4年2月の時間外の実績は、前年度比で4.2%の増加、2月までの累計でも1.6%増加している。新型コロナウイルス感染症への対応やイベントの開催等の増加要因があり、部局によってばらつきがあるが、全体としては時間外縮減に取り組んでいただいていると考えている。

また、時間外勤務の上限規制について、昨年度は11件の文書指導を行っている。管理職が勤務実績管理システムで確認を行うとともに、部内においても課長会等で情報の共有をお願いしたい。
- 4 ワークステーションの活用について【総務部】

総務部より、ワークステーションの活用について説明が行われた。
(総務部)

行政管理課では、障害のある方が定型的な業務を行うワークステーションを設置している。利用者を対象としたアンケートでは、9割を超える満足度をいただいております。リピーターも増加している。時間外の縮減や事務の効率化につながるため、各所属への周知と活用をお願いする。

5 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための職場における働き方について

【総務部】

総務部より、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための職場における働き方について説明が行われた。

(総務部)

高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安に応じて、人との接触機会の低減に取り組むこととしている。職場においては、基本的な感染防止対策を徹底していただき、「働き方の新しいスタイル」の実践・定着に取り組んでいただきたい。

6 令和4年度予算の執行方針について【総務部】

総務部より、令和4年度予算の執行方針について説明が行われた。

(総務部)

令和4年度予算の執行方針について、昨年度から取扱いを変更している点が2点ある。一点目は、歳出予算を一括配当としていること、二点目は、一部の事務費については、当初予算額の20パーセント相当額の執行の留保をお願いしていることである。留保分の取扱いについては、上半期の執行状況を見て、取扱いを検討することとしているので、予算の効率的・計画的な執行に努めていただくようお願いする。

また、6月補正の見積依頼をさせていただくので、タイトなスケジュールになるが、よろしく願います。

7 ウクライナ避難民の受入について【文化生活スポーツ部】

文化生活スポーツ部より、ウクライナ避難民の受入について説明が行われた。

(文化生活スポーツ部)

ウクライナ避難民については、本県でも積極的に受入を行っていくという方針を示しており、既に受入を行っている。相談窓口、住居、就労・就学などの支援を充実させていきたいと考えているが、情報が錯綜しているため、国から情報が入った場合は、情報提供をお願いする。

また、避難民の方から支援のニーズがあった場合には、関係部局には協力をお願いしたい。

○ 副知事

新型コロナウイルス感染症について、県の出先機関で会食によるクラスターが発生した。県の対応方針に沿った感染防止対策をとることは原則だが、一方で社会経済活動を回していく必要もあるため、大人数の会食の場合は全員検査を活用するなどの感染対策を行い、実施をしてもらいたい。

予算編成の手順上、令和3年度事業の成果が分かる前に令和4年度予算を組んでいることから、令和3年度に取り組んだ事業のチェック・アクションをもう一度働かせて、見直すべきところは見直しながら今年度事業を進めていただきたい。

政策調整会議のあり方について、部局間で連携して取り組むこと、協力を求めること、情報共有が必要なことなど様々なテーマについて、積極的に提案いただき、活発な議論を行いたいと考えている。様々なプロジェクトで庁内ワーキングを行っているが、政策調整会議をワーキングの場とするなど、積極的な議論をお願いしたい。